

Aventa comfort



Installation instructions

Contents

Symbols used	2
Technical data	2

Installation instructions

Scope of delivery	3
Accessories for installation (optional)	3
Intended use	3
Installation dimensions (in mm)	3
Clearance around the air conditioning system	3
Air inlets / outlets	4
Condensation traps	4
Selecting a location	4
Cut-out installation 400 x 400	4
Installation with new cut-out	5
Preparation for power cable connection and control panel cable	5
Securing the device	5
Use of roof thickness adapters	6
Securing the air distributor	6
Inserting the filters	6
230 V ~ electrical connection	7
Function test / remote control mounting	7

Symbols used



The device must only be installed and repaired by an expert.



Symbol indicates a possible hazard.



Note containing information and tips.

Technical data

Determined on the basis of EN 14511 or Truma test conditions.

Power supply

230 V – 240 V ~ , 50 Hz

Power consumption

Cooling: 4.2 A

Heating: 3.7 A

Starting current

28 A (150 ms)

Cooling power

2.4 kW

Heating power

1.7 kW (heat pump)

Air volume flow

max. 400 m³/hr.

Usage limits

+4 °C to 40 °C.

Maximum angle during operation

8 %

Weight

33 kg plus installation materials

Dimensions (W x H x D)

External: 660 x 248 x 1008 mm

Internal: 523 x 46 x 670 mm

Refrigerant

R 407C

Refrigerant content

see type plate on unit



Right reserved to make technical changes!



Fig. 1

訓練を受けた専門スタッフのみが、トルマ製品の設置と修理、および機能テストの実行を許可されており、同時に設置と操作の説明書および現在認められている技術規制を遵守します。
 専門スタッフとは、専門家の指示とトレーニング、トルマ製品と関連規格に関する知識と経験に基づいて、必要な作業を適切に実行し、潜在的な危険性を特定できる人物です。

セット内容

- アベンタコンフォート本体 x 1
- ブラケット x 2
- シーラントでコーティングされたネジ M6 x 70 4本
- シーラントでコーティングされたネジ M6 x 12 6本
- ベースリング x 1
- スキマアダプター x 2 (各 10 mm)
- リモコン x 1 (マウント付き)
- 取り付け用ネジ 2.9 x 16 x 2本
- 単4電池 x 2本
- 操作および取り付け説明書 各1
- インストールテンプレート
- クランプ x 3
- コントロールパネルケーブル1本
- エアディストリビューター x 1

Accessories for installation (optional)

Roof thickness adapter 10 mm, 1 pc. (part no. 40091-16900)

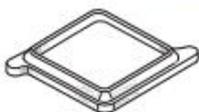


Fig. 2

Sealing frame (part no. 40091-19500)

Recommended for optimum sealing when retrofitting in vehicles with 400 x 400 mm cut-out.



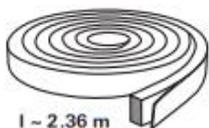
Fig. 3

Covering tape

cream (part no. 40091-31200)

grey (part no. 40091-31300)

For compensating for a gap of up to 5 mm between air distributor and roof.



l ~ 2.36 m

Fig. 4

12 V adapter for air distributor lighting
 1 pc. (part no. 40091-33000)

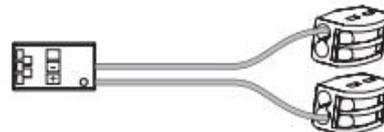


Fig. 5

使用目的

この装置はキャンピングカーやキャラバンに設置するように設計されており、民間部門での使用を目的としています。
 その他の設置はトルマ社との事前協議後にのみ許可されます。

取付寸法 (単位: mm)

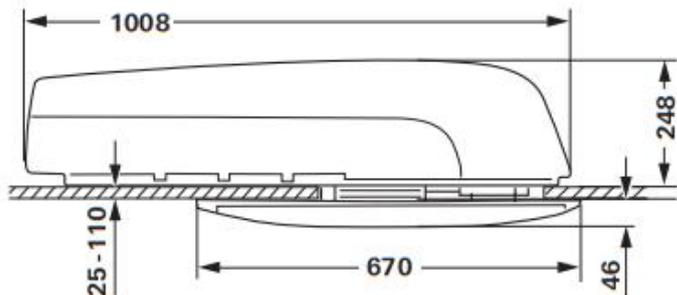


Fig. 6

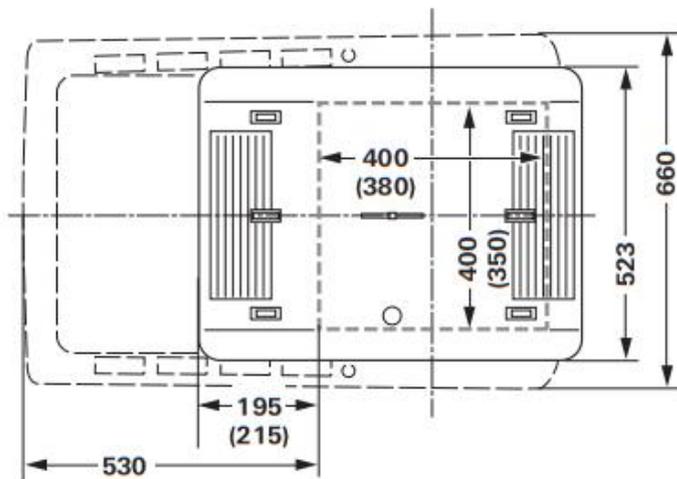


Fig. 7

エアコン周りの隙間

室外機の周囲は正面20mm、側面100mm以上の隙間が必要です。後部には少なくとも30mmのクリアランスを残す必要があります。

Trumaでは、排気が自由に吹き抜けるように200mmの隙間を推奨しています。

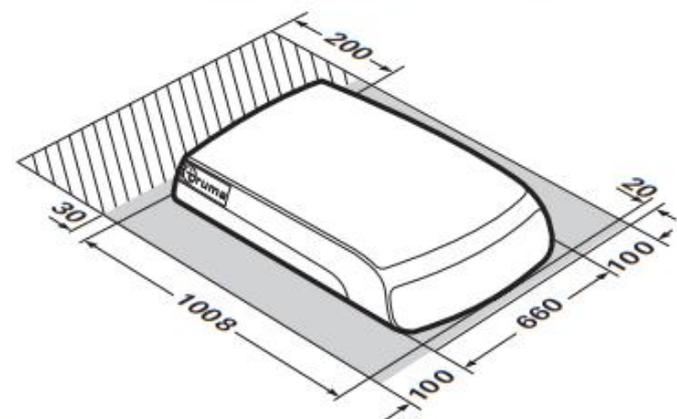


Fig. 8

エアディストリビュータの周りの隙間は、空気が障害物なく吹き出せるようにする必要があります。
側面のクリアランスは少なくとも 40 mm 必要です。
フラップとドアの回転範囲を考慮する必要があります。

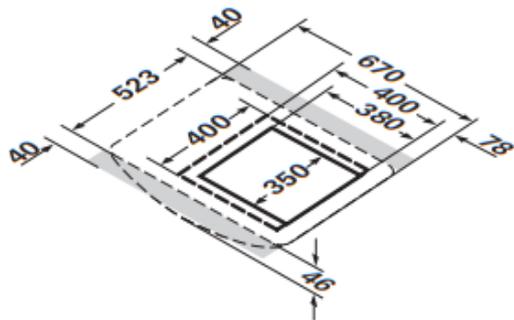


Fig. 9

Air inlets / outlets

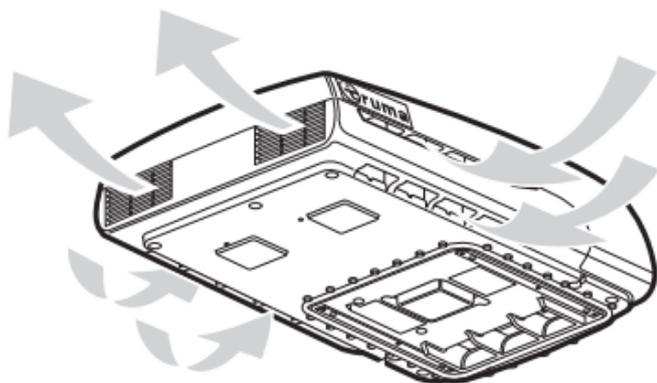


Fig. 10

結露トラップ

結露は車両の屋根から排出されます。

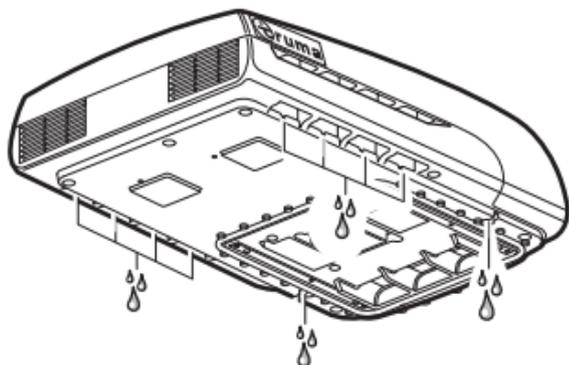


Fig. 11

Right reserved to make technical changes!

コントロールパネルケーブル

その後の BUS アプライアンスの設置を簡素化するには、アクセサリキットに付属しているコントロールパネルケーブルを主電源ケーブルと一緒に仮天井に通します。コントロールパネルケーブルの自由端をワードローブなどの適切な場所に接続ポイントとして固定します。

装着場所の選択

屋根に取り付けられた空調システムが設置されたら、近くの排気カウルは空調システムの上に少なくとも 10 cm 伸びる必要があります。
必要に応じて排気カウルを延長する必要があります (ヒーターメーカーの仕様にご注意ください)。
車両の屋根 (屋根の厚さ 25 ~ 110 mm) は水平で滑らかでなければなりません。

次の 3 つのインストール オプションが利用可能です。

- カットアウトを再度切り出す必要があります (350 x 380 mm)。
 - 既存のルーフハッチ (400 x 400 mm) を切り抜き、シールフレーム (付属品) を付けません。
 - 既存のルーフハッチ (400 x 400 mm) とシーリングフレーム (付属品) の切り抜き。
- 取り付け説明書はシーリングフレームに同梱されています。

次の点に常に注意を払う必要があります。

- 装置はできるだけ車両の中心近くに設置する必要があります。
 - 設置を妨げる障害物がないことを確認してください。
 - 屋根の内側と外側の間に電気ケーブルが通っている場合があります。作業を開始する前に、すべての電圧源を切断してください (すべての極)。
 - ルーフ荷重を超えてはなりません (自動車メーカーの仕様を参照)。
 - 屋内の設置場所に障害物がないか確認してください。
 - 屋根の上面と下面の間の屋根のカットアウトの周囲に木製の補強フレーム (最小 25 mm) を取り付ける必要があります。断熱材を除去する必要がある場合があります。装着場所の選択
- 屋根に取り付けられた空調システムが設置されたら、近くの排気カウルは空調システムの上に少なくとも 10 cm 伸びる必要があります。



safety

安全換気を備えた天窗を空調システムに置き換える場合は、安全換気が別の適切な場所に確実に復元されるようにする必要があります。

カットアウト設置 400 x 400

最適なシールを実現するには、アクセサリとして入手可能なシールフレーム (部品番号 40091-19000) の使用をお勧めします。

密閉フレームを使用して取り付ける場合は、密閉フレームに付属の取り付け説明書を参照してください。

既存のルーフを備えた車両に装置を取り付ける場合ハッチの場合、カットアウトの寸法は 400 x 400 mm である必要があります。

既存の屋根ハッチを取り外します (必要に応じて切り抜きを大きくします)。

シーラントの残りや凹凸を取り除きます。

ネジ穴をボディシーラントで埋めます。

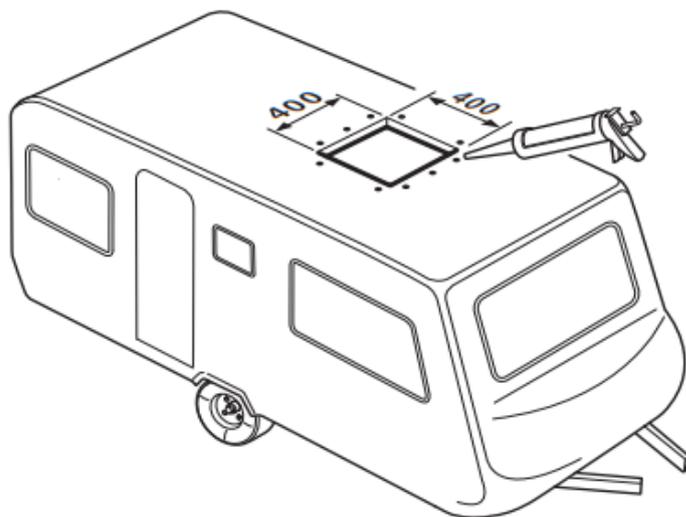


Fig. 12

その他の取り付け手順については、「電源ケーブル接続の準備」を参照してください。

Installation with new cut-out

新たにカットアウトして取り付け
既存のカットアウトのない車両の場合: 必要なカットアウト 350 x 380 mm。
車両の取り付け位置にテンプレートを配置し、切り欠き (350 x 380 mm) にマークを付けて切り取ります。
ブラケット取り付け用の 4 つの穴 (10 mm) に印を付け、屋根に穴を開けます。

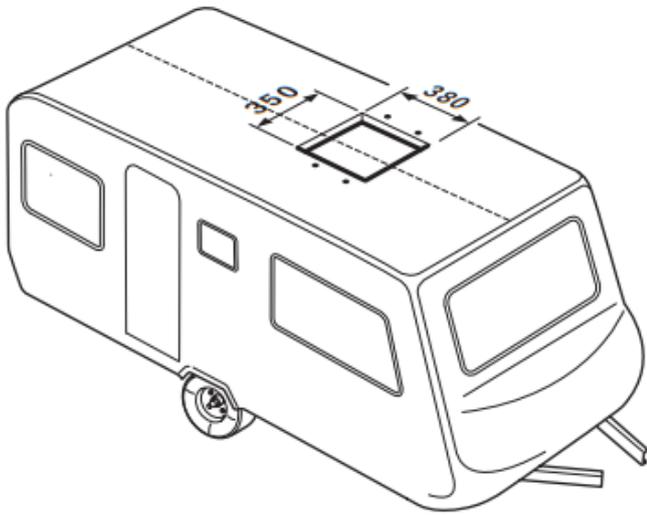


Fig. 13

電源ケーブルとコントロールパネルケーブルの接続準備

電源ケーブルとコントロールパネルケーブルの接続ポイントへのリードスルーを提供します。
仮天井の中で。

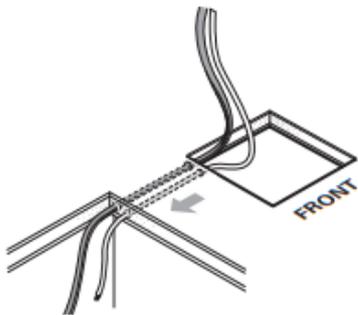


Fig. 14

デバイスを水平な位置で屋根に移動し、切り欠きに挿入します。
矢印は進行方向を指す必要があります。

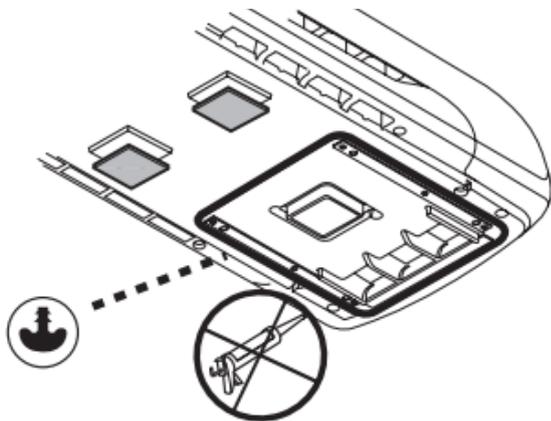


Fig. 15

i エアコンシステムと屋根の間に追加のシール材を塗布しないでください。

デバイスを回転させたり、水平設置位置から外した場合は、2 時間待ってから電源を入れてください。

デバイスを切り欠き内で前方に奥まで押し込みます。
デバイスから保護フィルムを剥がします。
電源ケーブルとコントロールパネルケーブルを接続ポイントまで配線します (必要に応じて、付属の Wago クランプを使用して電源ケーブルを長くします)。

オプションでエアディストリビューターの照明も 12 V で動作させる場合は、付属の 12 V アダプターを接続する必要があります。
取り付け説明書は 12 V アダプターに付属しています。

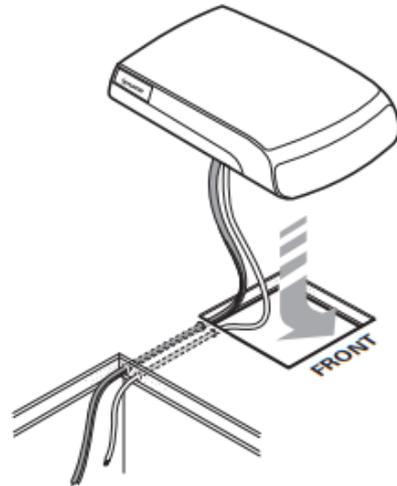


Fig. 16

デバイスの保護

付属の 4 本の M6 x 70 ネジ (ネジシーラント付き) を使用して、2 つのブラケット (進行方向の矢印が付いている) をデバイスにネジで固定します。

トルク 1.8Nm

屋根の厚さが 50 mm を超える場合は、引張強度 8.8 の M6 ネジ (長さ = 屋根の厚さ + 30 mm) を使用する必要があります。
ネジは、低強度ネジシーラント (ロックタイトなど) で固定する必要があります。

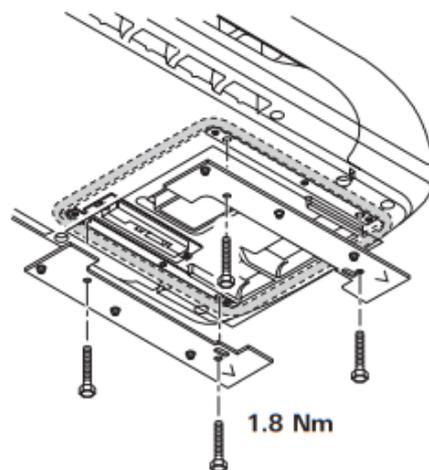


Fig. 17

ネジを複数回使用する場合 (取り外し後など)、低強度ネジシーラント (ロックタイトなど) で再度コーティングするか、スペアパーツとして提供されているネジを使用する必要があります。

屋根厚アダプターの使用

ベースリング (1) と、屋根の厚さに応じて、屋根厚 25 ~ 50 mm 用の屋根厚アダプター (2 または 2+3、付属) をエアディストリビューターの奥まで押し込みます。屋根が厚い場合は、追加の 10 mm 屋根厚アダプターを使用してください (付属品を参照)。屋根の最大厚さ 110mm

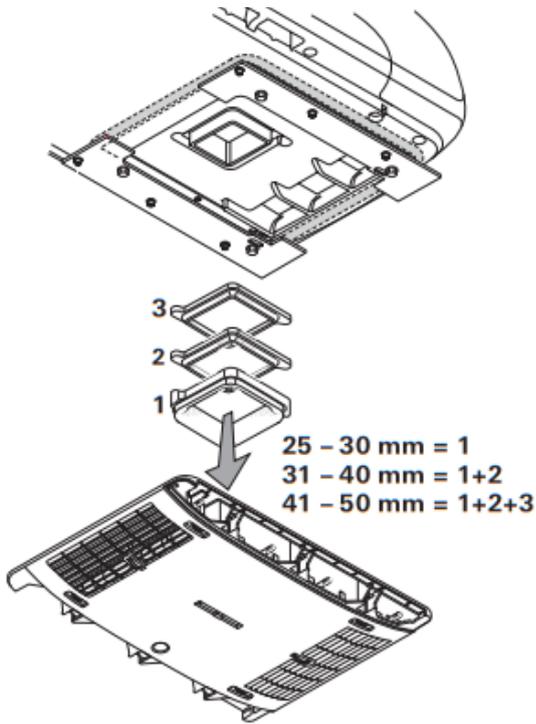


Fig. 18

エアディストリビューターの固定

エアディストリビューターからのケーブルとコントロールパネルケーブルをコントロールユニットに接続します。

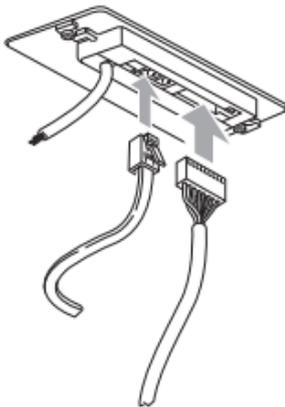


Fig. 19

6本のネジ M6 x 12 mm を使用して、エアディストリビューター (進行方向の矢印) をブラケットにねじ込みます。

付属品のカバーテープを使用することで、エアディストリビューターとルーフとの隙間を補うことができます。

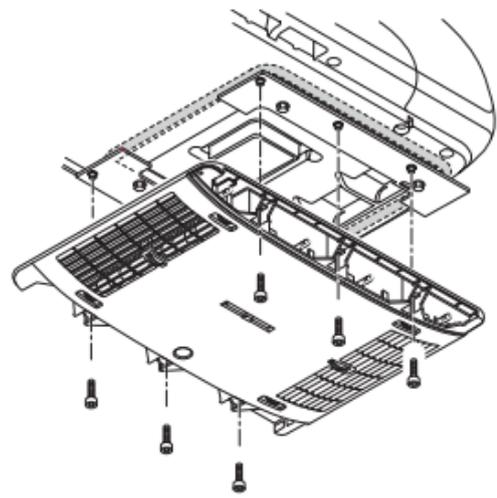


Fig. 20

ネジを複数回使用する場合 (取り外し後など)、低強度ネジシーラント (ロックタイトなど) で再度コーティングするか、スペアパーツとして提供されているネジを使用する必要があります。

フィルターの挿入 フィルターをパネルに挿入し、エアディストリビューターに取り付けます。

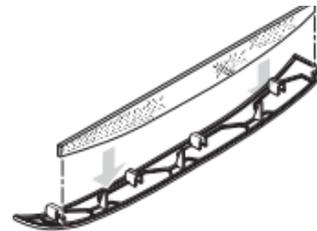


Fig. 21

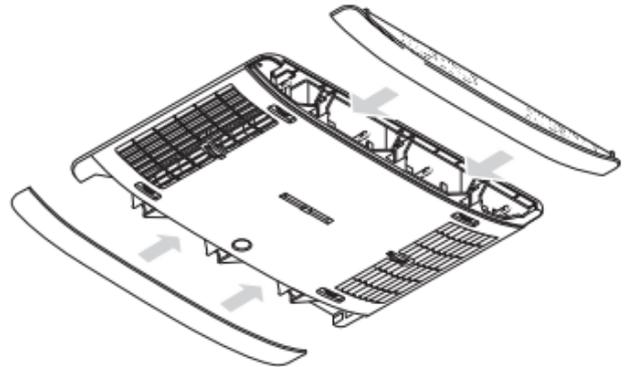


Fig. 22

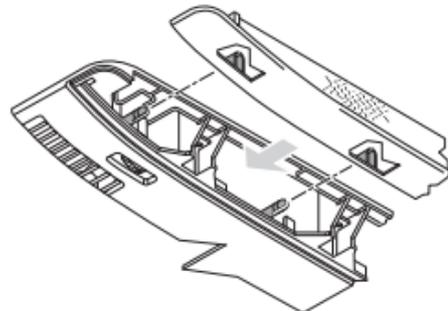


Fig. 23

230 V ~ electrical connection

230 V の電気接続は、必ず専門家が行う必要があります (たとえば、ドイツの VDE 0100、パート 721 または IEC 60364-7-721 に従って)。

ここに示されている手順は、専門家以外の人に電気接続を要求するものではありませんが、作業を行うために雇われている専門家に対する追加情報として役立ちます。

接続ポイントに配線されている電源ケーブルを接続します。すべてのケーブルはクランプで固定する必要があります。保守および修理作業を行うために、少なくとも 3.5 mm の接触間隔で主電源から全極絶縁を提供する絶縁装置を車両側に設ける必要があります。

Function test / remote control mounting

機能テスト・リモコン取付

リモコン用の取付金具を必要な位置に取り付けます。その後、すべてのデバイス機能を操作説明書の記載に従ってテストする必要があります。

設置者は、システムの設置後に結露トラップが解消されていることを確認する必要があります。

取扱説明書は車両の所有者に渡す必要があります。

if problems are encountered; in other countries
the relevant service partners should be contacted
(www.truma.com).

Having the equipment model and the serial number
ready (see type plate) will speed up processing.